

社会資本総合整備計画

頼りになる安全・安心なみどりのまちづくり
(防災・安全)

令和2年度 川崎市公共事業評価審査委員会

社会資本総合整備計画の概要

「頼りになる安全・安心なみどりのまちづくり（防災・安全）」

【計画の目標】

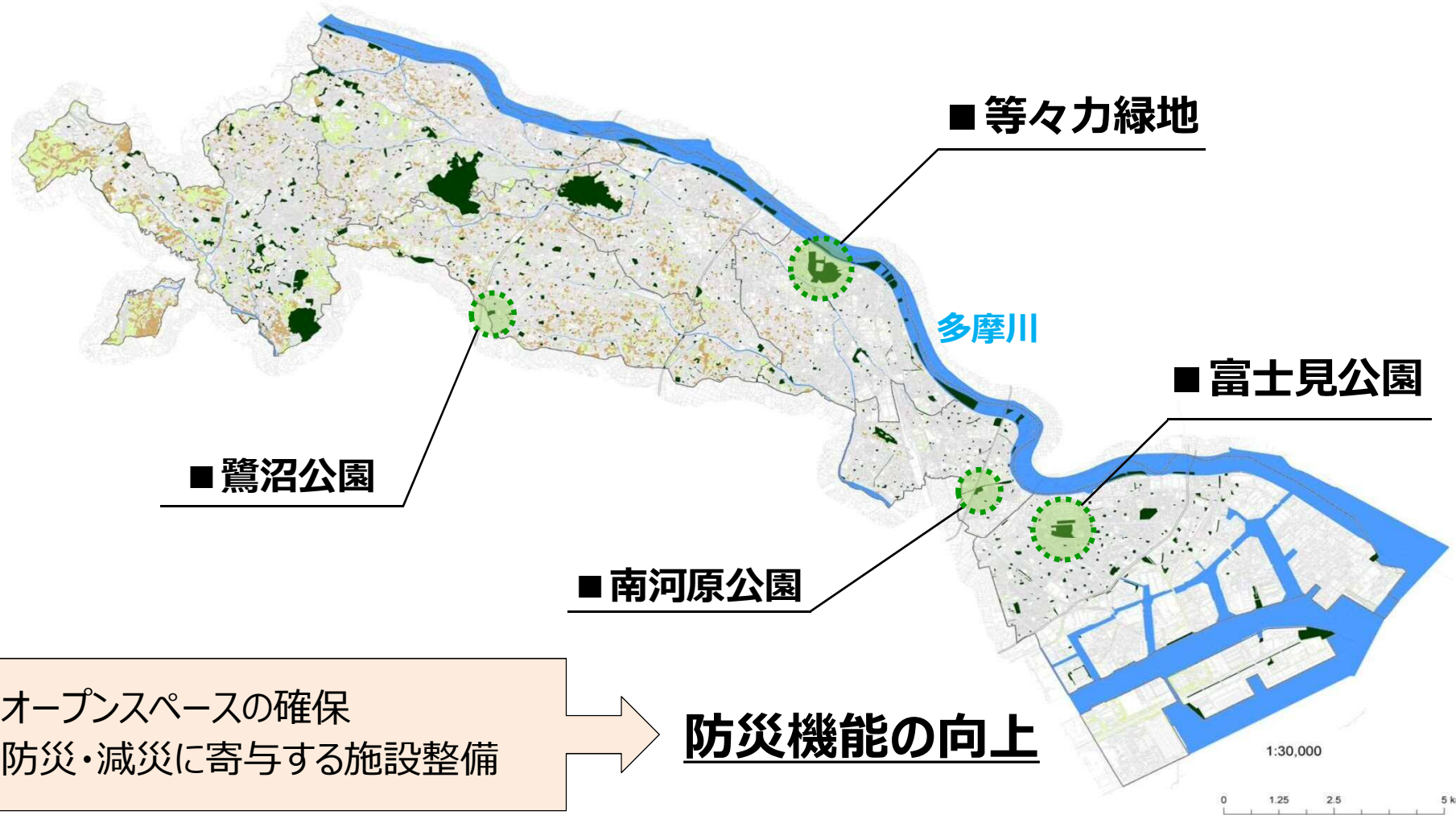
- 地域防災計画において広域避難場所に指定されている公園緑地の整備・拡充により、災害時の避難場所、市街地の延焼防止、救援活動及び物資集積等の拠点となるオープンスペースを確保する。
- 防災・減災に寄与する施設整備を行い、防災機能の向上を図る。
- 老朽化した公園施設の計画的な更新・改築や園路及び広場、便所のバリアフリー化を行い、誰もが安全・安心で快適に利用できる公園緑地の整備を推進する。

【計画の期間】

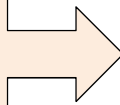
当初：平成27年度～令和元年度 ⇒ **変更後：平成27年度～令和2年度**

変更理由：等々力緑地の野球場改築工事において、想定外の対策工事が必要となったため

社会資本総合整備計画の概要

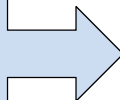


- ・オープンスペースの確保
- ・防災・減災に寄与する施設整備



防災機能の向上

- ・老朽化した公園施設の更新・改築
- ・バリアフリー化



安全・安心な公園緑地

社会資本総合整備計画の概要

要素事業

	事業名	事業内容	事業実施期間						全体事業費 (百万円)
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
①	都市公園事業(等々力緑地)	野球場整備2.6ha							5,093
②	都市公園事業(等々力緑地)(緊急点検)	野球場整備2.6ha							740
③	都市公園事業(富士見公園)	施設整備0.4ha、用地取得							442
④	都市公園事業(帰宅支援場所整備)	施設整備7箇所							363
⑤	都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画策定							9
⑥	都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策 (遊戯施設、公園施設更新・改築)							711
⑦	都市公園安全・安心対策事業	安全・安心対策 (都市公園のバリアフリー化6箇所)							175
合 計								7,533	

社会資本総合整備計画の概要

成果指標（定量的指標）

指標名	現況値及び目標値		
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R2末)
① 等々力緑地における災害時の応援部隊の活動拠点面積	8.1ha	—	10.7ha
② 富士見公園における避難場所となる広場等の面積	11.6ha	—	12.5ha
③ 市内都市公園における徒歩帰宅者支援場所の整備箇所数	0箇所	—	7箇所
⑤ 川崎市公園施設長寿命化計画に基づき更新または改築を行った施設の割合 ^(※1)	0%	30.5%	34.0%
⑥ 市内都市公園におけるバリアフリー化された公園の割合 ^(※2)	26.8%	—	28.3%

算定式

(※1) 更新または改築を行った施設の数 / 更新または改築が必要な施設の数

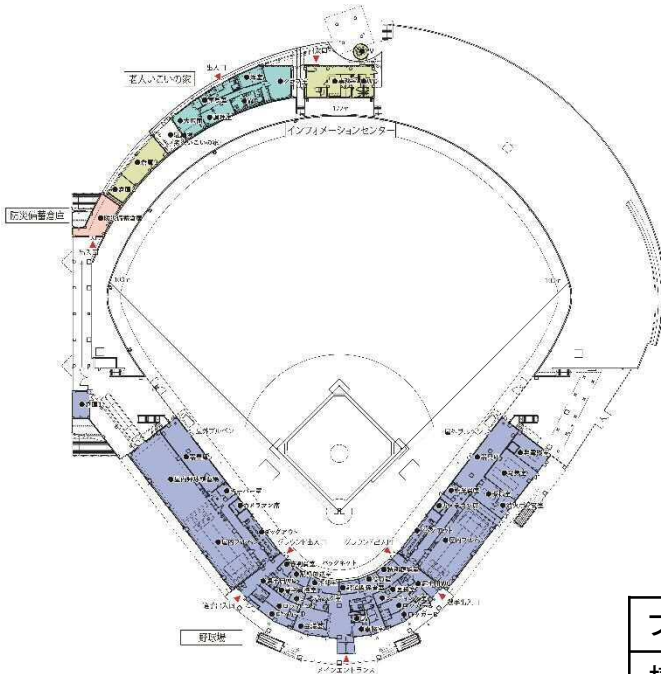
(※2) バリアフリー化された都市公園の数 / 都市公園数（都市林等を除く）

都市公園事業（等々力緑地）

【要素事業実施内容】

【平成27-令和2年度 事業内容】

- ・野球場整備 2.6ha ⇒ 令和2年10月10日 供用開始



等々力球場（整備後）

フィールド	人工芝及びアンツーカ舗装、両翼100m、センター122m、面積13,616㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造、プレキャスト鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上3階建て
建物機能	観覧場、防災備蓄倉庫、インフォメーションセンター、老人いこいの家
収容人数	内野スタンド 5,232人 車椅子席 30席 外野スタンド 4,000人 車椅子席 17席 合計 9,279人
電気設備	LEDナイター照明、フルカラーLEDスコアボード、サブスコアボード、太陽光発電設備
諸室等	選手ロッカー室、シャワー室、選手用トイレ男女、ダッグアウト、屋内ブルペン、屋内野球練習場、関係者室、会議室 他
災害時の防災機能	フィールド：消防機関の活動拠点 屋内野球練習場：救援物資等の市集積場所

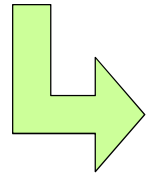
都市公園事業（等々力緑地）（緊急点検）

【要素事業実施内容】

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策

平成30年北海道胆振東部地震などの自然災害により、国民生活に欠かせない重要なインフラがその機能を喪失し、大きな影響を及ぼす事態が発生。

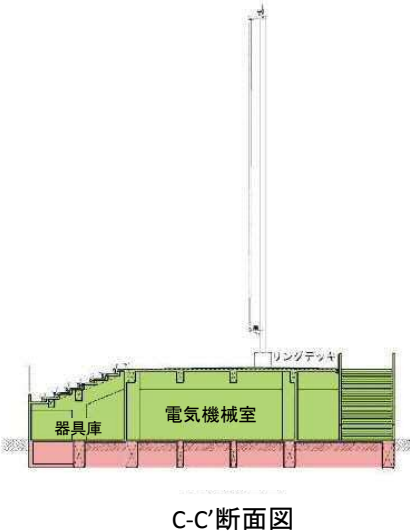
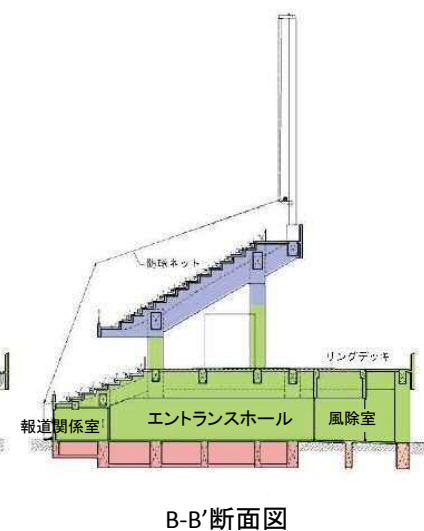
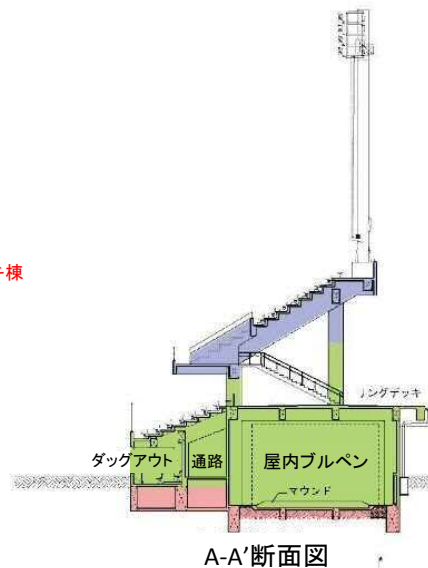
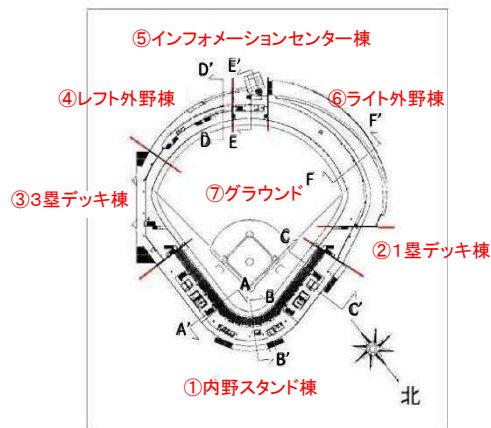
防災のための重要インフラ等の機能維持の観点から、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策を3か年で集中的に実施。



等々力緑地については、広域防災拠点となる都市公園に関する緊急対策として、H30・R1の2か年で、地震等災害時に消防機関の活動拠点となる等々力球場の施設整備を実施。

＜緊急対策による主な整備箇所＞

H30・R1緊急対策による
主な整備箇所（躯体工事）



都市公園事業（富士見公園）

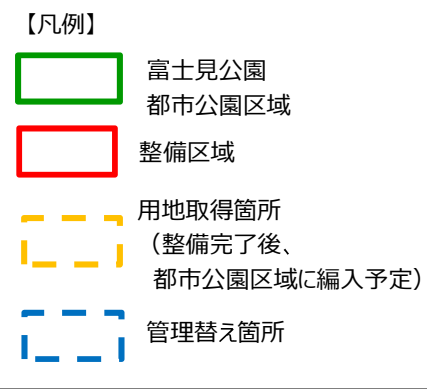
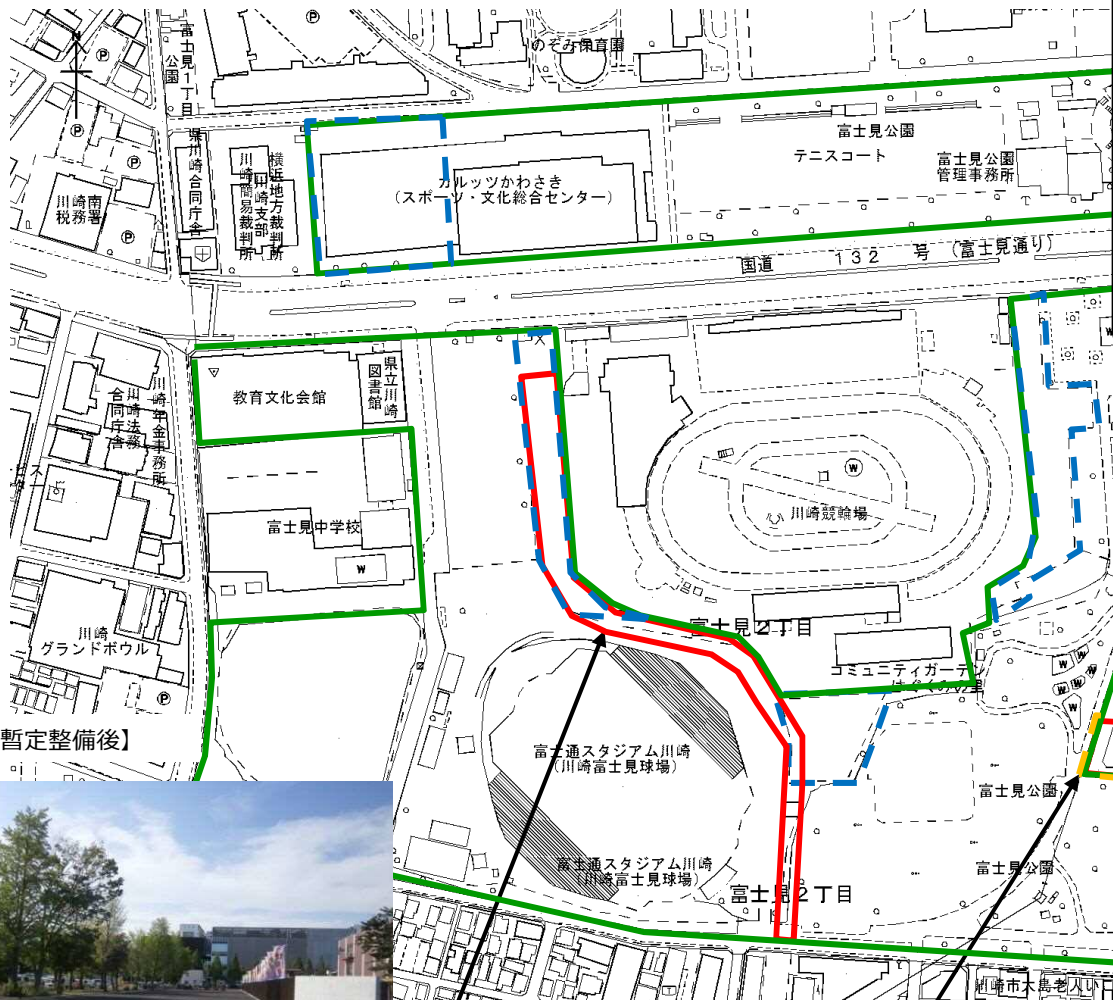
【要素事業実施内容】

【平成27-令和2年度 事業内容】

- ・用地取得 約0.1ha※1
- ・施設整備※2（広場） 約0.1ha
（園路） 約0.3ha

※1 用地取得の他、競輪場等からの管理替え等により約1.4haの面積増

※2 施設整備は市単独費で実施



【園路暫定整備後】

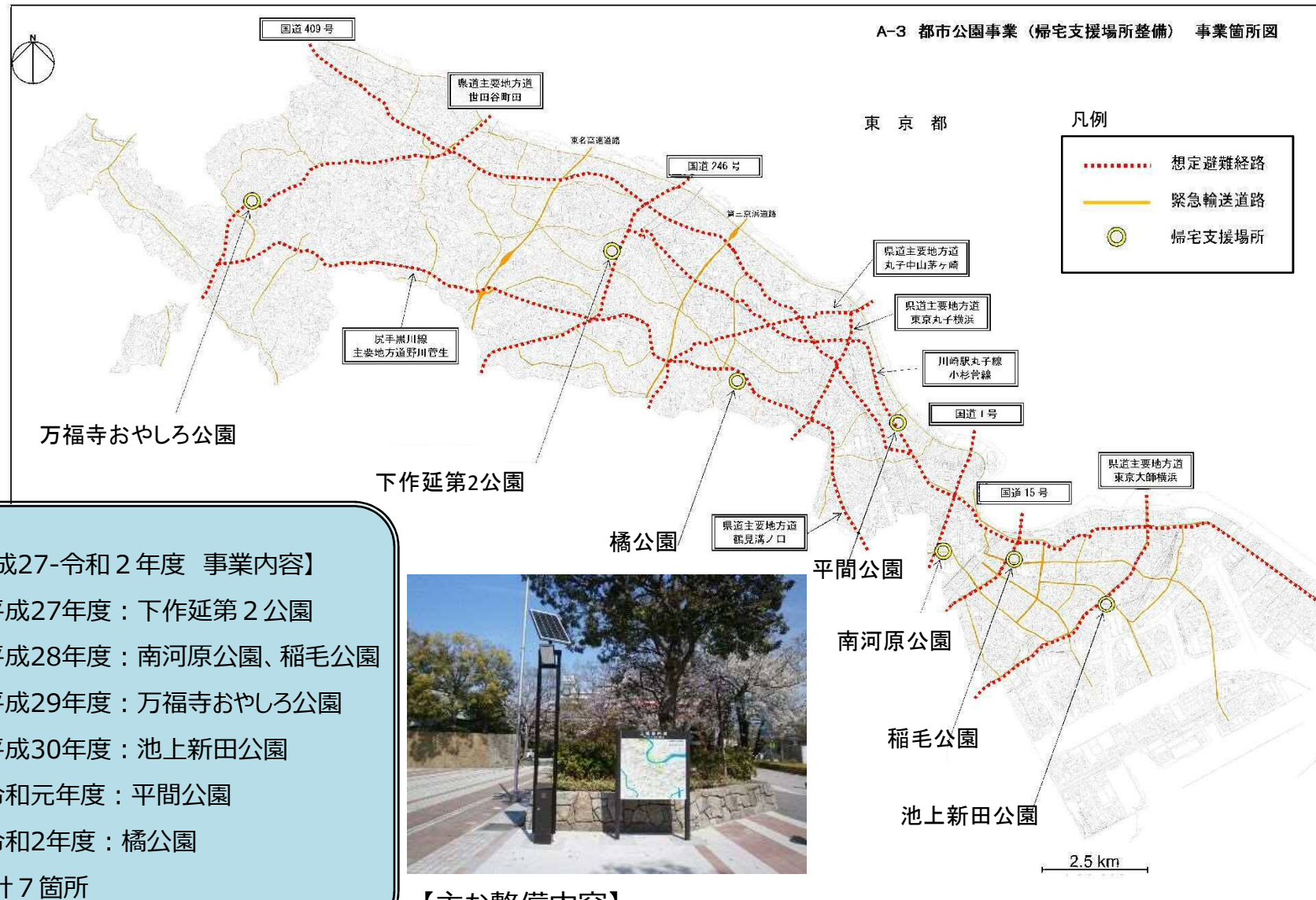


・平成30年度 整備（園路）

・平成27年度 用地取得
・令和2年度 整備（広場）
（令和2年度末工事完了予定）

都市公園事業（帰宅支援場所整備）

【要素事業実施内容】



- 【平成27-令和2年度 事業内容】
- 平成27年度：下作延第2公園
 - 平成28年度：南河原公園、稲毛公園
 - 平成29年度：万福寺おやしろ公園
 - 平成30年度：池上新田公園
 - 令和元年度：平間公園
 - 令和2年度：橋公園
- 計7箇所



【主な整備内容】
ソーラー照明灯と案内板（稲毛公園）

【平成27-令和2年度 事業内容】

川崎市内の公園において、設置より相当年数が経過し老朽化が目立ち、安全性が懸念される公園施設について、「川崎市公園施設長寿命化計画」を策定し、当計画に基づき再整備を推進することとしており、令和2年度末までに、約200公園にある743基の公園施設(遊具)について更新を行う見込みである。

（更新・改築を実施した公園）

桜本公園、塚越公園、井田杉山町公園、溝口公園、鷺沼第1公園、登戸第2公園、上麻生隠れ谷公園など

（更新・改築事例①）



設置から相当年数が経過し老朽化したスプリング遊具をリンク遊具へと更新した。



（更新・改修事例②）



設置から相当年数が経過し老朽化した木製シーソーを鋼製シーソーへと更新した。



都市公園安全・安心対策事業 (バリアフリー化)

【要素事業実施内容】

<バリアフリー化を行う施設>

- ① **主要な公園施設**
(トイレ、水飲み場、休憩施設など)
- ② **経路となる園路・広場**
(移動等円滑化園路)

【平成27-平成30年度 事業内容】

- 平成27年度：稲毛公園トイレ改築、下沼部公園トイレ改築
- 平成28年度：鷺沼・鷺沼第1公園施設整備、未長高之面公園トイレ改築
- 平成29年度：未長高之面公園施設整備、上麻生隠れ谷公園施設整備
- 平成30年度：上麻生隠れ谷公園トイレ改築、鷺沼公園トイレ改築

① トイレの改修事例 (未長高之面公園)



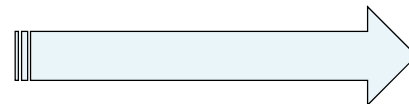
トイレを改築し、施設のバリアフリー化を図った。



② 園路の改修事例 (鷺沼公園)



園路の舗装を改修し、施設のバリアフリー化を図った。



要素事業の進捗状況

【要素事業の進捗状況】

要素事業の進捗状況

事業名等	事業実施期間						計画事業費		執行額	進捗率
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	当初	評価時	評価時	
									単位 (千円)	
等々力緑地 (整備)							9,025,000	5,092,883	5,092,883	100%
等々力緑地 (緊急点検)							740,000	740,000	740,000	100%
富士見公園							1,535,000	442,145	442,145	100%
帰宅支援場所							180,000	362,629	362,629	100%
公園施設長寿命化計画策定							20,000	9,828	9,828	100%
公園施設長寿命化整備							1,000,000	710,979	710,979	100%
都市公園バリアフリー化整備							171,000	174,559	174,559	100%
事業 合計							12,671,000	7,533,023	7,533,023	100%
								【財源内訳】	国：2,605,779 市：4,927,244	

評価指標の達成状況

【計画に記載した評価指標】

指標名	当初 (H27当初)	目標値 (R2末)	実績(見込) (R2末)	達成 状況	達成状況の所見
等々力緑地における災害時の応援部隊の活動拠点面積	8.1ha	10.7ha	10.7ha	達成	野球場の整備(2.6ha)により、目標どおり達成した。
富士見公園における避難場所となる広場等の面積	11.6ha	12.5ha	13.1ha	達成	計画策定時の見込みどおり、競輪場等からの約1.4haの管理替えとともに、約0.1haの用地取得により、全体で約1.5haの面積増となった。このうち、約0.4ha(広場:約0.1ha、園路:約0.3ha)については、計画どおり、暫定整備を行った。 なお、計画策定時には、庁舎狭隘などの課題のあった川崎区役所を富士見周辺地区へ移転することを想定していたが、この間、庁舎狭隘の問題が一定解消されたことから、公共施設再編の方針に変更があり、結果として、目標を上回る実績となった。
都市公園における徒歩帰宅者支援場所の整備箇所数	0箇所	7箇所	7箇所	達成	7公園において整備を行う見込みであり、目標どおり達成する見込み。
計画に基づき更新または改築を行った施設の割合 (※更新または改築が必要な施設の数:2,187基)	0%	34.0%	34.0%	達成	令和2年度末までに、743基の公園施設(遊具)の更新を行う見込みであり、目標どおり達成する見込み。
市内都市公園におけるバリアフリー化された公園の割合 ※都市公園数(都市林等除く) R2末:1,122公園(予定)	26.8%	28.3%	29.5%	達成	本計画の事業においては、当初目標のとおり6公園の整備を行ったところであるが、この計画の事業のほかに、バリアフリー化に対応した公園を42箇所新設(うち3箇所はR2年度中に完成見込み)しており、バリアフリー化された都市公園の数が合計で331公園となったため、目標を上回って達成する結果となった。

■ 設定指標

- ① 遊具更新を行った公園に対する印象評価
- ② バリアフリー化を行った公園に対する印象評価

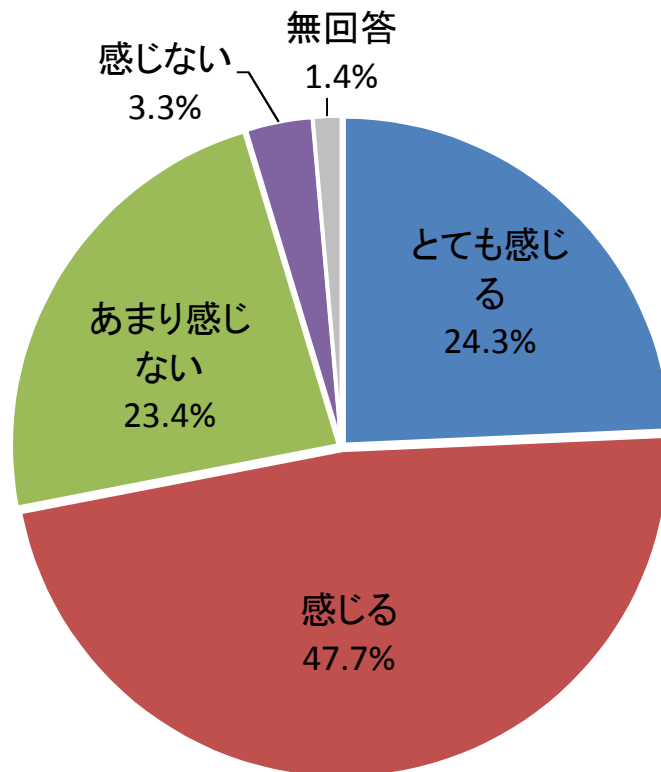
アンケート調査

- 【実施目的】 各事業の効果を市民等が実感しているか、印象評価により、確認するため
- 【実施場所】 市内公園緑地
(等々力緑地、富士見公園、南河原公園、鷺沼公園、上麻生隠れ谷公園)
- 【調査内容】 ・事業概要を提示し、事業後の印象等をアンケート用紙に記入
- 【調査期間】 (箱設置) 令和2年8月18日(火) ~ 令和2年8月31日(月)
(対面式) 令和2年8月19日(水)、8月29日(土)、8月30日(日)
- 【有効回答】 214部

■ 設定指標

① 遊具更新を行った公園に対する印象評価

⇒ 【設問 1】事業実施後の遊具が利用しやすくなったと感じるか
または、利用しやすくなると思うか



【回答】「とても感じる」
「感じる」

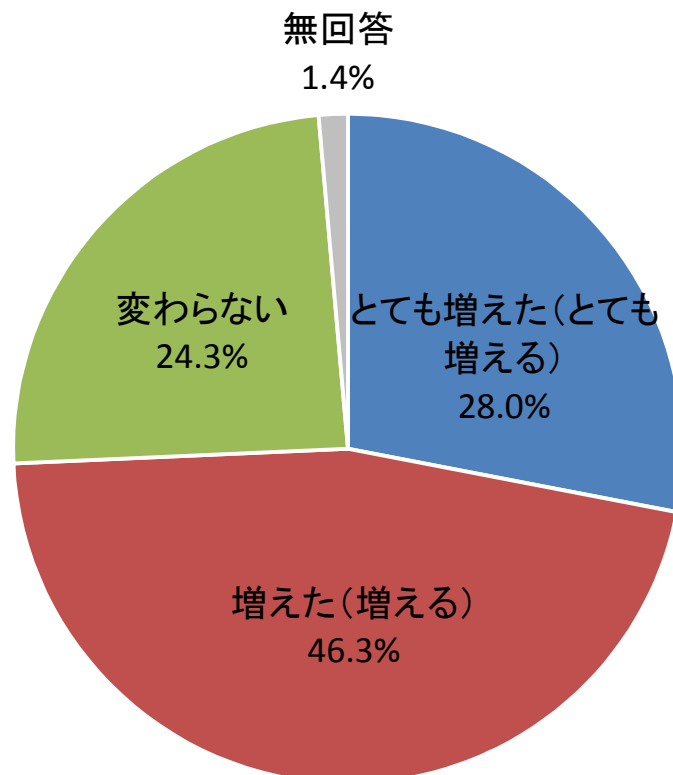
72.0%

利用環境向上につながっている
（又は、つながることが期待できる）
ことが確認できた

■ 設定指標

① 遊具更新を行った公園に対する印象評価

⇒ 【設問2】公園緑地の利用回数が増えたか
または、利用回数が増えると思うか



【回答】「とても増えた(とても増えると思う)」
「増えた(増えると思う)」

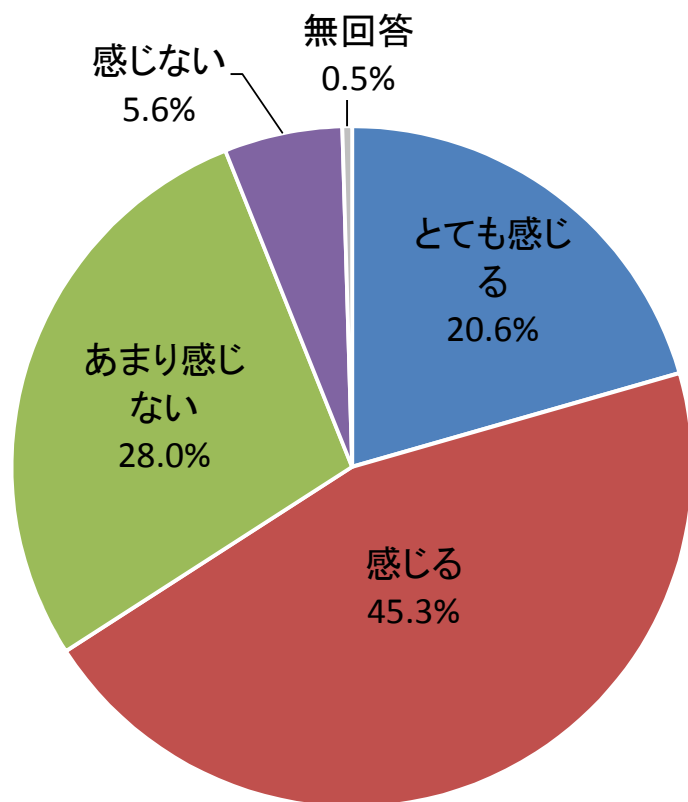
74.3%

利用回数の増加につながっている
(又は、つながることが期待できる)
ことが確認できた

■ 設定指標

② バリアフリー化を行った公園に対する印象評価

⇒ 【設問1】事業実施後の施設が利用しやすくなったと感じるか
または、利用しやすくなると思うか



【回答】 「とても感じる」
「感じる」

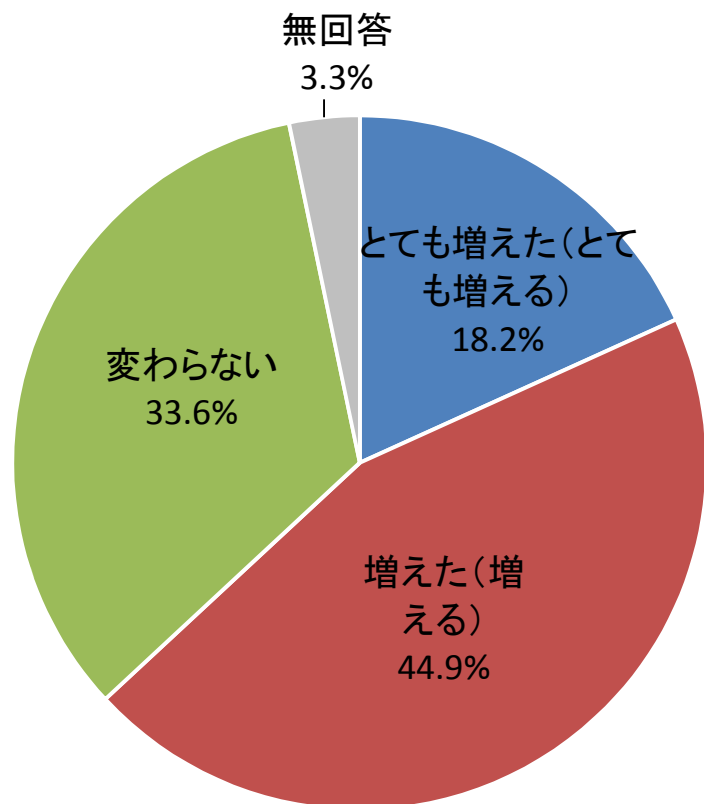
65.9%

利用環境向上につながっている
(又は、つながることが期待できる)
ことが確認できた

■ 設定指標

② バリアフリー化を行った公園に対する印象評価

⇒ 【設問2】公園緑地の利用回数が増えたか
または、増えると思うか



【回答】「とても増えた(とても増えると思う)」
「増えた(増えると思う)」

63.1%

利用回数の増加につながっている
(又は、つながることが期待できる)
ことが確認できた

アンケート調査

（印象調査と同時に実施）

【実施目的】 防災機能向上の効果を市民等が実感しているか確認するため

【実施場所】 市内公園緑地
（等々力緑地、富士見公園、南河原公園、鷺沼公園、上麻生隠れ谷公園）

【調査内容】 事業概要を提示し、事業後の利用状況等をアンケート用紙に記入

【調査期間】 （箱設置）令和2年8月18日(火) ～ 令和2年8月31日(月)
（対面式）令和2年8月19日(水)、8月29日(土)、8月30日(日)

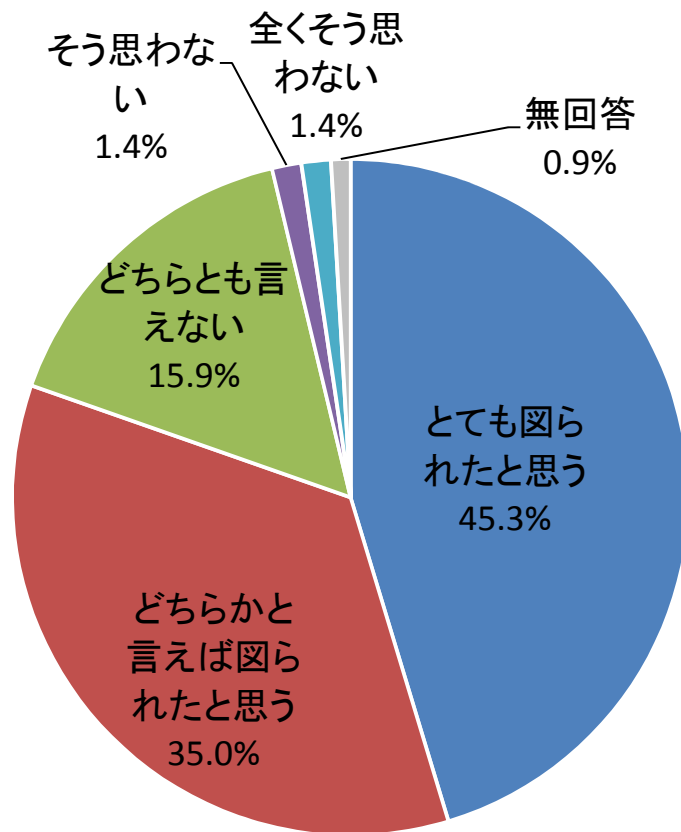
【有効回答】 214部

市民に対する意見募集・調査の状況

【市民意見募集】

【設問】

公園が整備され、防災機能の充実が図られたと思いますか



【回答】「とても図られた」
「どちらかといえば図られた」

80.3%

約 8 割の方が、
充実が図られたと感じており、
事業の効果が確認できた

総合的な所見

計画の目標

- 本市の地域防災計画において広域避難場所に指定される公園緑地の整備・拡充により、災害時の避難場所、市街地の延焼防止、救援活動及び物資集積等の拠点となるオープンスペースを確保するとともに、防災・減災に寄与する施設整備を行い、防災機能の向上を図る。
- 老朽化した公園施設の計画的な更新・改築や園路及び広場、便所のバリアフリー化を行い、誰もが安全・安心で快適に利用できる公園緑地の整備を推進する。

■目標指標の達成状況

整備面積および、箇所数、割合について、すべて達成することができる見込み

⇒ 事業全体で… **目標は達成**

■アンケート調査結果

- 事業実施後の公園緑地に対する印象評価

→ 遊具等の更新、バリアフリー化についての印象 おおむね良好

- 防災機能の充実に対する評価

→ 回答者のおよそ8割が、機能の充実を感じていた

⇒ **事業の効果が
確認できた**

今後の方針

■次期計画

計画期間 令和3年度～令和7年度 の整備計画を作成予定

■次期計画に向けた取組

事後評価・アンケート結果に基づく、整備計画、適切な指標の検討

防災機能の向上

引き続き、広域避難場所に指定されている公園緑地の整備・拡充を進め、オープンスペースを確保する。防災・減災に寄与する施設整備を進める。

安全・安心な公園緑地

老朽化した公園施設の計画的な更新・改築を進め、誰もが快適に利用できる公園緑地の整備を推進する。